

1月9日 (土) 浜岡と東海を人の情報で結ぶ ～署名開始宣言集会～

安全協定の権限拡大を求める 東海第二原発の運転延長に反対する

開会あいさつ 司会 阿部 功志 (原発事故から暮らしを守るネットワーク) …… 13:30

第1部 浜岡原発再稼働反対運動のいま

報告 増田 勝さん (浜岡原発を考える静岡ネットワーク)

質疑・意見交換



浜岡原発を考える静岡ネットワーク (浜ネット) ブログ

第2部 署名運動開始にあたって …………… 15:00

報告・安全協定改定をめぐる首長懇談会の動き

相沢 一正 (脱原発とうかい塾)

報告・運転延長にかかる情報について

小川 仙月 (脱原発ネットワーク茨城)

質疑・意見交換

* 署名実施団体名、行動計画、署名提出期日などを審議



浜岡原発の防波壁 読売新聞

署名運動開始宣言 …………… 16:00

日時 2016年1月9日 (土) 13:30~16:00

場所 東海村・真崎コミュニティセンター 1階会議室A・B

集会呼びかけ人 小川仙月 (脱原発ネットワーク茨城・共同代表)

阿部功志 (原発事故から暮らしを守るネットワーク・代表)

問い合わせ先 029-282-3619 (相沢)

070-5577-2993 (阿部)

東海第二原発の再稼働を許さないための署名運動に立ち上がりましょう



画像：東海第二原発と東海村市街地 東京新聞

皆さん

原発再稼働への最後の手続きは、自治体の同意・不同意にあります。今進んでいる再稼働をめぐる動きの焦点は、そこに結んでいます。

そして、立地自治体を超えて、どの範囲まで同意権を持つ自治体を拡大できるか、それが安全協定の枠組み拡大（権限拡大）問題です。

東海第二原発をめぐるのは、原子力所在地域首長会議（座長・東海村、日立市、ひたちなか市、那珂市、常陸太田市、水戸市）が、現在、枠組み拡大を求めて日本原電と交渉中です。私たち市民グループはこの首長会議の行動を支援し同調して、枠組み拡大を実現することが今最も大事なことで考えています。過酷事故が起これば立地自治体と変わらぬ被害を受けるのですから、隣接周辺自治体が再稼働にかかる同意権を持つのは倫理的に当然のことです。それは福島第一原発事故で証明済みです。

浜岡原発をめぐるのは、立地の御前崎市を含む近隣の4市が再稼働に係る同意権を持っています。さらに、UPZ市民団体交流会が地元同意に関する要望書・質問書を県知事あてに提出するとともに、その5市2町も中電との安全協定締結に向けての話し合いを進めています。先進事例の経験をしっかり学ぶ必要があります。

また、東海第二原発は運転歴38年目に入りました。運転寿命40年に間もなく到達しますが、それ以上の運転のためには延長手続きが必要となってきます。延長の手続きをするな、延長反対、は事実上の再稼働反対と同じです。

皆さん

本集会は、浜岡の経験に学びつつ、この二つの署名を同時に開始し、日本原電と県、関係市村首長への要請・激励の運動として、かつ東海第二原発再稼働反対の世論の掘り起こしを改めて行うための、意思結集・確認の集まりです。

具体的に署名運動実施の呼びかけや署名簿提出日程などを決め、早い時期に行動することができるように話し合います。

多くの皆様のご来会を待ちます。

2015年12月20日